

## ガーナでそろばんプロジェクト 125 号(2025 年 7 月 29 日)

★★ 習い事は生徒獲得合戦ではない ★★

トトロの運行状況に泣く泣くそろばん教室を諦めた先月、同じ事にはならないように今月は行き方を変えました。おかげで、2 時間そろばん教室が出来る時間に到着しました。2 時間出来るなんて最高に良いなと思うも、いつも子どもたちを待たせてしまっている事もあり、到着した時間に子どもは居ず、私が子どもを待つこととなりました。思い返せば、ずっと遠い昔もアフィフェに吹く風を感じながら子どもたちがそろばん教室に来るのを待っていた時間がありました。壁のない掘っ立て小屋の教室で、時々にとりが教室を徘徊する教室で子どもたちがいつ来るのかとワクワクした気持ちと、もしかしたら誰も来ないかもという不安が入り混じりながら待っていました。今は新校舎でブロックの壁のある教室で門を見ながら、トランペット教室の子どもたちが講師が来る前の音階練習の声を聞いて待ちました。一時間ほど待つと、一人目の子どもが来ました。この一人目が教室に入ってから前に、そろばん教室の生徒が門を入ってからのが見えました。やっと来た！これでそろばん教室が始められると思うも、その生徒はトランペット教室に入っていました。

この光景を見て、ふと思い出したことがありました。日本人の子どもは習い事が多く、そろばん教室が蔑ろになりがちというあるそろばん教室の先生のつぶやきでした。子どもの才能を育み可能性を引き出すものとして前号でこのトランペット教室とそろばん教室の事を書いたばかりです。生徒の獲得合戦では無いですが、これでまた子どもが一人トランペット教室に行ってしまったという複雑な想いがありました。行き方を変えてまでもして実地したかったそろばん教室に来た子どもは二人

だけでした。開催の案内が不十分だったのでしょうか。しかし、おかげでほぼぼまんツで指導することが出来ました。乗算除算に入ったサビナは九九は完璧に暗記していません。次回九月の開室までに完璧に暗記するように伝えました。連続して五珠が動く計算の理解がまだ不十分な六年男子がトランペット教室に憧れは持っても、五珠の理解が出来、そろばんの計算方法の魅力に気づき、計算が分かるようになってもらいたいなと心から思いました。

報告 TOSHIKO



子どもの学びのサポートに心より感謝いたします。

協賛



トモエそろばん様